

「令和4年度地域交通検討調査業務委託」に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称、契約期間

令和4年度地域交通検討調査業務委託
契約締結日から令和5年3月15日(水曜日)まで

2 選定した受注予定事業者

株式会社日建設計総合研究所 大阪オフィス

3 公募期間

参加申請書受付期間 令和4年4月1日(金曜日)から令和4年4月7日(木曜日)まで
提案書受付期間 令和4年4月11日(月曜日)から令和4年4月27日(水曜日)まで

4 選定委員による審査の結果

(1) 選定会議委員名簿（敬称略、五十音順）

委員氏名	役職等
井ノ口 弘昭	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 准教授
松中 亮治	京都大学大学院 工学研究科 准教授
吉田 長裕	大阪市立大学大学院 工学研究科 准教授

(2) 選定会議の開催日

令和4年5月13日（金曜日）

(3) 選定基準

次頁『「令和4年度地域交通検討調査業務委託」提案書採点集計表』のとおり

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社地域未来研究所
株式会社日建設計総合研究所 大阪オフィス 全2者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点）

次頁『「令和4年度地域交通検討調査業務委託」提案書採点集計表』のとおり

「令和4年度地域交通検討調査業務委託」提案書採点集計表

評価項目		審査内容	配点合計	受注予定事業者 評価点
業務 実 施 体 制	実施体制の的確性	・業務実施体制について、具体的かつ明確に記述されているか。 ・業務を適切に実施するために必要な経験等を有するスタッフ配置体制が確保されているか。	30	27
	管理責任者	・過去に同種又は類似する事例に取り組んだ実績があるか。 ・管理責任者は実績として挙げた業務において中心的及び主体的に参画したかどうか。	30	27
小 計			60	54
業務実施計画		・本業務の意図、目的及び趣旨を十分に理解した計画になっているか。 ・本業務全体の実施方針や実施手順に妥当性、実現可能性はあるか。 ・新規性はあるか。	60	47
技 術 提 案	〈特定テーマ1に対する提案〉 端末交通の配置案の検討にあたり、市民の日常の交通行動を把握するため、地域の年齢構成や生活実態、地域等の多様なニーズを調査するにあたり、効果的なアンケート調査等を実施する上での具体的な手法及び留意点を述べよ。	・新たな視点での提案(創意工夫や独自性、積極性等が盛り込まれた提案内容)となっているか。 ・着眼点に妥当性があり、合理的な提案となっているか。 ・要点がわかりやすく簡潔にまとめられた書類になっているか。 ・業務目的を十分に理解し、市民の日常の交通行動を把握できる内容となっているか。	75	61
	〈特定テーマ2に関する提案〉 BRTは、鉄道に比べ輸送力が小さく、鉄道のように大きな便益は出ないが、地域交通ネットワーク全体としては必要な移動手段である。以上を踏まえ、BRTを新たに導入する場合の需要予測方法及び定量的に便益を測り評価する方法を述べよ。	・新たな視点での提案(創意工夫や独自性、積極性等が盛り込まれた提案内容)となっているか。 ・着眼点に妥当性があり、合理的な提案となっているか。 ・要点がわかりやすく簡潔にまとめられた書類になっているか。 ・業務目的を十分に理解し、実現可能性のある手法、また市民に対してわかりやすい評価方法となっているか。	75	62
プレゼンテーション		・本業務に対する取組意欲が高く、積極性が感じられるか。 ・発表の構成力、根拠や知識・技術力の裏付けなどがあり、説得力があるのか。	30	26
小 計			240	196
総 合 得 点			300	250

※応募者が2者であったため、次点者の得点は公表しません。